

平成 19 年 11 月 16 日 記者会見 質疑応答 (埼玉)

発表内容：平成 19 年度中間決算について

日 時：平成 19 年 11 月 16 日 (金) 16 時 30 分 ~ 17 時 00 分

場 所：埼玉県政記者クラブ

発 表 者：埼玉りそな銀行 川田社長、木村常務

りそなホールディングス (HD) グループ戦略部 氷坂部長

【質疑応答】

Q . 企業の資金需要の現状と今期末の貸出金残高の見通しについて？

A . 資金需要に関しては、県内の貸出金も前年対比伸びが鈍化していると分析しておりますが、当社の今期末貸出金残高は、6 兆 1808 億円を目指す計画としております。

Q . 期初予想通りということでもいいか？

A . 期初予想通りです。この環境下で、この目標は、かなりハードルが高いのではという議論もありましたが、やはりチャレンジしてみようということになりました。

Q . 実勢業務純益、純利益ともに過去最高益を更新したということでもいいか？

A . 過去最高益を更新しました。

Q . 通期見通しは修正したのか？

A . 上期の上振れ分等を勘案して上方修正しております。

Q . 通期でも過去最高か？

A . 達成すれば過去最高となります。

Q . 今回の業績を押し上げた主な要因は？

A . 開業以来、顧客基盤の拡大、いわゆるお客さまの数を増やそうという施策を地道に、法人のお客さま個人のお客さまにかかわらず取り組んでまいりました。これが 17 年度から増加基調に転じ、現在も持続している段階にあります。この愚直に一社一社、一人一人のお客さまにきっちりと対応するという施策が業績拡大の一番の要因だと認識しております。

Q . 経費率は地域金融機関の中でもトップクラスと言っていたが、その要因は何か？

A . オペレーション改革による事務の合理化等を徹底的に推進してまいりましたが、その成果がでてきたものと考えております。

Q . (経費率は) 地域金融機関の中でトップなのか？

A . 中間決算が出揃っておりませんが、横浜銀行がトップと思われれます。(経費率が) 40 % 台というのは (地域金融機関では) トップクラスにあると思います。

- Q . 先程、資金需要の伸びが鈍化しているとの説明があったが、具体的な理由は何か？
- A . 経済全体は拡大基調であります、やや成長が鈍化していると認識しております。4月以降、住宅着工件数とマンションの成約率が低下するなか、6月の建築基準法改正による影響も加わり、県内資金需要は増加基調を維持しているものの増加額が前年比減少している状況だと思います。
- Q . 現場の実感として法人融資が伸びない原因はなにかあるか？
- A . 設備投資なども若干弱めになっておりますし、不動産プロジェクトも弱含みとなっていること等が主な原因だと思います。
- Q . 先ほど競争が激化しているという説明があったが、県内において、特に重点的に力を入れていきたいという地域はあるか？
- A . 当社は埼玉県の中核銀行ですので、県内全地域に力を入れていく考えです。
- Q . 今日株価がかなり下がっているが、今後の株価の見通し、(日本)経済の状況についてどのように考えているか？
- A . 8月頃から表面化してきたサブプライムローン問題につきましては、最初はヨーロッパで発生しましたが、これが短期金融市場を相当混乱させております。いわゆるローン債権の担保商品から始まりましたが、他の債権担保商品にも影響してきて、短期金融市場の混乱が株価に影響してきているという状況に今はあると思います。株価についてはサブプライムローン問題があく抜けするまで、年明け頃までは回復は難しいものと考えております。ただ世界経済全体はBRICsやネクスト11など新興国の成長率が高く、世界経済全体がアメリカ依存度が落ちているという観点からすると、世界経済全体はゆるやかに成長していくと見ています。その中で、日本経済がどのようになるかというのは、今後のサブプライムローン問題の影響度次第でありますので現段階では不透明な状況にあると思います。

以上